

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本目標① しごとづくり				
～成長力ある産業の振興、企業の発展を支え、多様な働き方が実現できる環境をつくる～				
○ものづくり企業のイノベーション創出支援				
とよたイノベーションセンターを核としたものづくり企業の支援				
	とよたイノベーションセンター運営事業	中小企業の新たな事業展開に対して、総合的かつ一体的な支援を実施する。	190,369,287	<ul style="list-style-type: none"> ・一気通観エンジニア養成プログラムの開講（受講者数：延べ125人） ・デジタル×ものづくりカレッジの開講（受講者数：延べ30人） ・製造技術者育成プログラムの開講（受講者数：延べ702人） ・技術・経営相談への対応（相談件数：延べ2,832件） ・イノベーションセミナー等の開催（受講者数：延べ1,201人） ・IoT研究会の運営（参加者延べ468人）
	（仮）ものづくり創造拠点事業	ものづくり中小企業によるイノベーションの創出と次代のものづくりを担う技術者の育成を実施する。	622,640,503	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり創造拠点の開所（H29） ・ものづくり創造拠点における企業・創業支援（登録団体数：64団体） ・ものづくりミライ塾の運営（塾生数：80人）
	ものづくりブランド事業	ものづくり企業の集積地としての地域ブランドを構築し、対外的なプロモーション活動を展開する。	26,065,634	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田ものづくりブランド認定制度の運用（認定数：57技術・製品） ・認定技術・製品の共同出展（メッセナゴヤ、テクニカルショウヨコハマ等） ・市外企業との交流会等の実施
次世代自動車の普及による新たな市場創出				
	次世代自動車の外部給電設備の導入支援	外部給電機能の付いた次世代自動車を“走る発電機”としてPRし、外部給電設備の導入を支援することで、次世代自動車の普及促進を図る。	30,688,435	<ul style="list-style-type: none"> ・外部給電上乗せ補助件数：373件（市民向け：330件、事業者向け：43件） ・HV外部給電設備補助件数：28件 ・とよたSAKURAプロジェクトによる普及啓発 ・イベント出展（パートナーによる地域防災イベントへの出展協力を含む）の実施
豊田商工会議所、金融機関、行政が連携した創業・事業承継支援				
	創業支援事業	創業希望者への資金に関する支援の円滑化を図るため、3者で共通カルテを作り、窓口の連携を図る。	0	<ul style="list-style-type: none"> ・創業サポート連絡会の開催（13回） ・創業支援対象者数2,346件、うち創業者数延べ1,174件 ・認定特定創業支援等事業により支援を受けたことの証明書発行件数135件
	とよた事業承継研究会事業	中小事業者における高齢化や後継者不足の課題に対して、3者で協力して課題解決や状況調査を実施する。	374,500	<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査（2015年度～2016年度）、シンポジウム（2016年度）、セミナー（2019年度～2020年度）、職員向け勉強会（2019年度）、あいち事業承継ネットワークとの連携（2019年度）

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位: 円)	取組実績
基本 目標 ①	企業の新たな挑戦に対する経営資源（人、モノ、カネ、情報など）の支援			
	ビジネスチャンス拡大支援事業	大規模展示会等への集団出展等による販路開拓支援及びビジネスチャンス拡大に向けた見本市出展に係る経費を補助する。	60,961,133	・とよたビジネスフェアの開催（出展者数：延べ586企業・団体、来場者数：延べ22,714人） ・中小企業見本市等出展事業補助金の交付（延べ136件）
	新事業展開支援事業	研究会設置による新たな事業展開を見出す機会の提供、及び新サービス・新製品の開発に係る経費を補助する。	141,235,600	・ものづくりベンチャーとのマッチング（取組企業数：延べ11社） ・開放特許活用による製品開発支援（取組企業数：延べ9社） ・自社製品開発講座の開催（取組企業数：延べ21社） ・ピッチイベントの開催（登壇者数：延べ15社・団体） ・ものづくりハッカソンの開催（取組チーム数：12チーム） ・新製品・新技術等開発補助金の交付 （①小規模開発枠採択数：延べ10件、②通常枠採択数：延べ14件） ・ものづくり創造補助金の交付 （①通常枠採択数：6件、②スタートアップ枠採択数：2件） ・とよた環境ビジネス研究会の開催 （①全体勉強会：延べ4回、②会員数：延べ68人（58社））
	企業ニーズに即したものづくりの中核人材の育成、確保支援			
	ものづくり人材育成支援事業	人材育成事業の実施及び企業が実施する人材育成に係る経費を補助する。	27,073,047	・中小企業人材育成事業補助金：延べ支給決定件数236件
	将来のものづくりを担う人づくり支援			
	ものづくり教育プログラム事業	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連づけたものづくりを体験できるプログラムを実施する。	31,682,291	・実施校総数：300校、体験児童総数：15,897人、 ・サポーター派遣総数：8,804人
	ものづくりプロジェクト事業	企業や職人と連携し、豊田市らしいものづくりのカリキュラム（自動車・和紙・竹細工等）の実施や主に中学生を対象とした科学の講座やイベント等を実施する。	44,548,364	・豊田市科学技術教育振興会事業（科学分野） 企画数：48講座 ・クルマづくり究めるプロジェクト（自動車分野） 参加者総数：577人 ・匠の技・職人の技に学ぶプロジェクト 匠の技分野：15講座
	とよたものづくりフェスタ（わくわくワールド）開催事業	企業との共働により、ものづくりをテーマとした大規模なイベントを開催する。	58,585,007	・とよたものづくりフェスタ（わくわくワールド）の実施 出展数：298ブース、総体験者数：57,364人

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本 目標 ①	○戦略的な企業立地支援			
	重点産業分野・研究開発機能などの企業立地に向けた総合的な環境整備			
	企業立地奨励事業 (旧：企業誘致推進奨励事業)	企業の市内への新規立地及び市内企業の事業規模拡大に対し、奨励金を交付する。	5,523,271,000	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致推進補助金 企業立地奨励金 4事業所 383,870,000円 再投資奨励金 1事業所 152,078,000円 雇用促進奨励金 4事業所 14,250,000円 企業立地奨励補助金 企業立地奨励金 4事業所 122,135,000円 中小企業設備投資奨励金 5事業所 17,364,000円 創造産業立地補助金 創造産業立地奨励金 2事業所 305,046,000円
	企業立地インフラ整備支援事業	開発に伴い必要となる開発区域外のインフラ（道路又は下水道）整備に係る経費に対し、補助金を交付する。	0	・企業立地インフラ整備事業 0件
	産業用地整備事業	産業立地ポテンシャルの高い地域において新たな産業用地を整備する。	3,441,643,283	<ul style="list-style-type: none"> 南部地域産業用地整備事業（10,319,100円） 地元自治区等との意見交換、民間事業者と事業計画についての協議を実施 花本産業団地拡張事業（895,027,253円） 造成工事、事業損失補償調査及び上水配水管布設工事等、現地説明会を実施。応募受付開始。
	豊田・岡崎地区研究開発施設用地の整備促進	豊田・岡崎地区研究開発施設用地の整備を促進するため、企業庁、庁内関係課等との連絡調整業務を実施する。	0	・松平関連対策5者会議等を通じ、関係機関調整、地元要望対応を実施。
	○産業型農・林業の振興			
	収益性の高い農業経営の確立に向けた支援			
	人・農地プラン（地域農業マスタープラン）推進事業	農業の後継者となる若年層の就農や農業経営向上のための農地集積などを支援する。	170,341,953	<ul style="list-style-type: none"> 青年就農者に農業への定着を促進する目的で給付金を給付。（105件） 地域の中心となる経営体に農地集積を行うため、協力農家に補助金を交付。（36件） 人・農地プラン実質化を図るため、アンケート実施と地図を作成。 集落での話し合いを推進し、人・農地プランの実質化を行った。
	農商工連携・6次産業化とブランド化の推進	他業種との連携支援や事業化支援をする。あわせて、農産物の輸出などブランド化を支援する。	22,794,589	・ビジネススクールを開催し、豊田産農産物を使った6次産業化関連商品の開発支援を行った。
	中核製材工場誘致を核とした素材生産の効率化や地域材利用の促進			
	地域材加工流通体制整備事業	製材工場の誘致、用地造成及び地域材の利用促進の方策を検討する。	722,341,649	・製材工場関係工事が完了。 ・平成30年8月より製材工場が稼働し、安定的な原木生産体制の構築及び需給調整会議等により地域材の安定供給を図っている。
地域材利用拡大推進事業（旧：地産地建ハウス促進事業）	地域材を積極的に活用する事業者の支援や地域材需要の喚起を図る。	33,648,682	・平成30年度に（一社）ウッディーラー豊田を設立し、地域材流通のコーディネート及び地域材の普及啓発活動を図っている。	
関連市道・林業整備事業	製材工場等へのアクセスを円滑にし、木材搬出量の増加や流通の効率を上げる。	2,718,126,213	・市道整備 L=2,393m	

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本 目標 ①	農や林に関わる多様な担い手の創出			
	農ライフ創生センター事業	農業研修などを通して、農業後継者としての担い手の育成及び、高齢者の「生きがい」づくりを進める。	113,288,799	・担い手コース修了者188人、帰農コース修了者37人、生きがいづくりコース修了者21人、桃梨専門コース修了者1名、新規就農者160人
	とよた森林学校事業	間伐等林業作業者の育成と市民の森林・林業に関する意識の向上を目的とした森林・林業に関する講座を開催。受講後には、受講生がセミプロの林業従事者、地域の森づくりの担い手や森林ボランティアリーダーなどとして活躍できるよう育成。	95,066,308	・計85講座で延べ4,168人が参加。
	○企業・大学等と連携した近未来技術やシステムの実証支援			
	高度な専門性を有する大学・企業との連携による実証支援			
	ミライチャレンジパートナーシップ事業	市民や企業、大学と連携し、新しい発想や技術を生かした様々な事業にチャレンジする取組を支援する。	858,174	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が元気になるモビリティ社会プロジェクトを開始（一部実装済み） ・山村地域で移動できる小型電気自動車に関連する実証事業を実施（実装済み） ・下水熱回収技術の実証事業を実施（実装済み） ・産業用ドローンの開発・活用に向けた実証事業を実施 ・ヒューマノイドロボットの開発及びインフラ協調実証事業を実施
	○若者・女性・高齢者の働く環境・しごとの創出支援			
	学生の地元就職に向けた環境づくり			
	学生と働くをつなげる事業	学生と地域の企業経営者の出会いの場を創出し、「働く」ことや社会貢献の意味・意義について学ぶ機会を設けることにより、社会を生き抜く力、自分の能力を活かす力を育成する（社長塾）。 学生と地域の企業の社員との意見交換会を開催し、通常では得られない情報の習得、交流ネットワークの拡大を促進する（企業カフェ）。 実際の「働く」現場を訪問・体験し、仕事の流れや社会の一員として貢献する大切さを学ぶことにより、就活力向上を推進する。（企業見学ツアー）。	11,274,248	<ul style="list-style-type: none"> ・ハタラクカフェとよたの開催（実施回数延べ13回、参加学生延べ300人、参加事業所延べ78社） ・職場ツアーの実施（実施回数延べ1回、参加学生6人、訪問事業所1社）
	企業等との連携による働きたい女性に向けた就業・起業支援			
女性の起業に向けた支援	起業相談のほか、起業や経営の知識・ノウハウの取得支援となるセミナーを開催するとともに、女性起業家同士のネットワークづくりを進める交流の場を提供する。	1,842,216	<ul style="list-style-type: none"> 女性の起業支援に関する取組を実施した。 ・離職中女性の活躍支援セミナー：3回、34人 ・企業支援セミナー：7回、104人 ・女性起業家支援セミナー：1回、10人 ・起業プラン作成講座：1回、12人 ・とよたで女性の起業できますプロジェクト 男女共同参画センター主催分：6回、延べ123人 ものづくり産業振興課主催分：10回、延べ21人 ・起業講座：3回、41人 	
女性の就労促進等に向けた支援（企業との連携強化）	企業との連携を強化し、関係者間の相互理解や企業のニーズを把握するための場を創出し、女性の就業促進のための支援を行う。	212,518,970	・女性しごとテラスの開設（2017年度）、延べ相談件数2,563件、セミナー参加延べ人数946人、延べ就職決定件数299件	

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本目標①	定年を迎えるシニア世代の能力を活用した就業創出・社会参加推進			
	シルバー人材センター就業創出事業	シルバー人材センターが行う就業開拓や就業創出のための事業を支援する。	422,384,035	・会員紹介キャンペーンや女性部会の設置により入会促進を図るほか、労働者派遣事業の拡大等に取り組み、高齢者の就業機会を提供した。 ・請負・委任受注総件数 46,427件 ・派遣就業延べ人数 151,770人
	生きがいづくり推進事業	高齢者の社会参加に関する相談や情報提供などのほか、いきいきと暮らすための機会を提供する。	47,290,846	・とよたシニアアカデミー（平成29年度までの高年大学含む）では、通年コース・専門コース・はじめの一步講座などを実施し、延べ1,621名が参加した。
基本目標② 人の流れ、賑わいづくり ～魅力をつくり、新たな人の流れを生み出す環境をつくる～				
○都市と山村交流（人・モノなどの循環）の活発化				
都市と山村の人・モノの循環を促進する中間支援の実施				
	おいでん・さんそんセンター事業	都市と山村の中間支援として、相互の課題やニーズに対応した交流のコーディネート及び交流の情報提供等を実施する。	194,436,483	・総合窓口の運営（来客1006人、相談171件） ・都市と山村のコーディネート（マッチング26件） ・集落活動応援隊（4地域、6回、延べ33人） ・情報発信（Web・紙媒体） ・いなか暮らし総合窓口（移住相談30件） ・山村地域移住PR（いなか暮らし博覧会、いなかとまちのくるま座ミーティング） ・いなかとまちの文化祭（約500人参加） ・人材育成（豊森なりわい塾）
都市と山村の交流促進に向けたネットワークの強化				
	関連市道整備事業	都市部と山村部の交流促進に向けた幹線道路ネットワークの強化及び幹線道路へ安全にアクセスできる生活道路の整備・改築を行う。	2,718,126,213	・市道整備 L=2,393m
○中心市街地の魅力づくり				
中心市街地における商業・サービス機能の誘致・奨励				
	商業団体等補助事業	空き店舗活用、商店街等活性化事業等に対して補助を行う。	531,361,686	・イルミネーションストーリー実行委員会負担金 ・商業活性化推進交付金：2団体 ・商店街等施設整備事業 ・商店街等事業機会拡大事業：10団体 ・買い物環境支援事業 ・街路灯整備事業：7団体
	中心市街地活性化事業	大型商業・業務テナントビルにおける集客力のあるテナントの誘致及び空きテナントの速やかな解消に向けた補助を行う。	0	・中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議において、今後発生する予定の空きテナントに対応するため、テナントミックスビジョンを見直し、共有を図った。また、魅力的な店舗の維持のため、周辺市町での大型商業施設の出店に対する課題及びテナントビルにおける整備方針の共有を図った。

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本 目標 ②	魅力的な都心づくり			
	都心環境計画推進事業	都心の来街者等全てに魅力的で、環境と調和した活力ある都市空間形成に資する計画である「都心環境計画」の各事業を推進する（駅前広場、サイン等の再整備、あそべるとよたプロジェクト（公共空間等の活用）の推進等）。	1,613,808,735	・豊田市駅前通り北地区市街地再開発事業の整備完了。 ・都心施設再整備に関する設計及び工事等の実施。
	映画を活かしたまちづくり事業	都市型シネマコンプレックス開館に向け、市民の認知度向上、映画文化の醸成、映画を活かした賑わいづくりを行う。	99,504,055	・2015年に官民の施設・組織、企業等で構成する「映画を活かしたまちづくり実行委員会」を設立。映画を活かしたまちづくり事業に取組んだ（H27：リトルプリンス 星の王子さまと私 公開記念 シティ・タイアップ事業、H28：「ひるね姫」先行特別試写会、H29：ドライブインシアター 名探偵コナンなど）。
	○訪れたいまちづくり			
	観光まちづくりの推進			
	豊田市観光協会の機能強化	豊田市観光協会組織検討委員会を設立し、豊田市観光協会の機能等について検討を行い、機能強化に向けた取組を推進する。	15,603,016	・平成29年2月の（一社）ツーリズムとよた設立に伴い、事業完了。
	観光まちづくり事業	観光まちづくりを進める観光関連事業者や地域住民へのアドバイザーの派遣等を実施する。	2,995,600	・延べ10団体に対して当事業を実施。 令和元年度をもって事業完了。
	観光資源の魅力化促進			
	とよたまちさとミライ塾事業	都市部や山村部など市内に点在する観光資源をオンパク手法によって一体的にまとめ、体験プログラムを提供する。	36,823,466	・体験プログラム数：910件（延べ数） ・体験プログラム参加者：12,613人 ・パートナー数：444団体 ・ウェブサイト会員登録数：12,814人 ・令和元年度にて市主催事業は完了、事業主体を民間に移管。
	おもてなし事業	豊田市を訪れる人に対し、ニーズに合ったお土産品の販売や観光情報、飲食店情報を提供する。	606,832	・スカイホール、豊田スタジアムにおいて、商工会議所など関係機関が連携し、観光PRや特産品販売等を開催し、来場者へのおもてなしを実施。（豊田市観光協会） ・平成29年2月の（一社）ツーリズムとよた設立に伴い、事業完了。
鞍ヶ池公園賑わい空間創出事業	市内外からの多様な世代が多様な楽しみ方を実現する空間を創出する。	27,000,000	・キャンプフィールド提案を始めとする民間活力導入事業を公募、事業者決定、提案事業の整備。この内、サービスセンター整備を完了。	
○国際大会を契機とした都市の国際化推進				
国際大会の開催支援及び関連事業の実施				
ラグビーワールドカップ2019開催準備事業	大会開催に向けての各種計画の策定、PR活動、情報発信、関係機関との調整、地域活性化への取組を実施する。	1,180,569,934	・令和元年度に完了。 ・大会開催に合わせた誘客やおもてなし事業等誘客策の検討及び実施。 ・交通輸送、ファンゾーン等、大会開催に必要な各種計画策定及び実施。	

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本 目標 ②	外国人が快適に滞在できる環境づくり			
	外国語観光情報ホームページの運営	豊田市観光協会ホームページの外国語版を充実させ、情報提供を実施する。	40,062,038	・ ツーリズムとよた公式ホームページ（7か国語及び3か国語）の多言語運営 ・ 市が運営するVISIT TOYOTA CITYとの統合 ・ ラグビーワールドカップ2019特設ページ及び「OH! MOTENASHI」特設ページを新設。
	とよたグローバルスクエアを生かした国際交流事業	国際交流の拠点施設であるとよたグローバルスクエアを生かした市民草の根交流の推進（小学生国際理解教育事業・ナショナルデー等）や姉妹都市交流の充実を図る。	31,847,539	・ とよたグローバルスクエアにおいて、ナショナルデーやこども国際クラブ、国際理解教育事業（小・中・高・特別支援学校）を実施。 ナショナルデー等の開催：92回 延べ参加者数：31,654人 こども国際クラブの開催：70回 延べ参加者数：1,468人 国際理解教育事業：40回 延べ参加者数：2,171人
	○シティプロモーション推進			
魅力プロモーション				
	定住促進プロモーションの推進	「ファースト暮らしとよた」や「田舎体験・田舎暮らしinとよた」など、市内外の人人に豊田市の魅力、住みやすさを分かりやすく伝える情報発信の取組を展開する。	67,864,635	・ Facebookを活用した情報発信（2017年度～2018年度） ・ PR冊子の作成・配布：80,000冊（2017年度～2020年度） ・ ウェブサイト閲覧数：134,471件（2017年度～2020年度） ・ PR動画の作成・放映（2017年度～2020年度） ・ 市内外のイベント等でのプロモーション活動（2017年度～2020年度） ・ 複数のマスメディアを活用したプロモーション活動（2018年度～2020年度） ・ 主要駅でのポスター広告（2018年度） ・ 市販誌「豊田市デイズ」の創刊・記事掲載（2018年度～2020年度） ・ WEB広告による情報拡散（2018年度～2020年度） ・ ウェブサイトの改修（2020年度）
	オールとよた観光魅力プロモーション事業	とよたPR大使、観光宣伝、とよたフィルムコミッション、インバウンド事業などで豊田市の魅力を発信する。	333,471,036	・ とよたPR大使：毎年2～3名を任命し、とよた産業フェスタをはじめ市内外のイベントにてPR活動を実施。 ・ 松平観光ガイドマップ：英語版を2年間にわたり5,000部発行。 ・ フィルムコミッション：ラリーを題材にした映画の撮影において、エキストラ手配等の業務を実施（令和元年度のみ 411,950円）。 ・ （一社）ツーリズムとよたによる国内外プロモーション事業（雑誌類、新聞広告、TV放映、インフルエンサーの活用、メディア掲載、名古屋鉄道との連携、タイ、台湾、ベトナム、中国での現地セールス、現地旅行会社等の招請事業の実施）

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本 目標 ②	○多様な住宅・宅地の供給			
	定住希望者の暮らし方に応じた居住先確保			
	空き家情報バンク事業	地域住民としての受け入れを前提に農山村地域の空き家を登録公開し、定住に結び付ける。制度利用者は空き家改修補助金制度の適用も受けられる。	96,146,742	・空き家情報バンクに221件の物件登録あり、162世帯387人が移住した。 ・空き家の改修97件、空き家の片付け29件に対し補助金を交付した。
	2戸2戸作戦宅地分譲事業	農山村地域への定住を進めるため、2～5区画程度の小規模な宅地分譲を行う事業。定住希望者向けの住宅用地の選出や、地域と定住希望者が相互理解を図るための交流事業を地域と行政が共働して実施する。	10,158,480	・下山地区に2区画の宅地を造成し、2世帯が移住した。
	農山村等住宅取得費補助金交付事業	農山村地域において、住宅取得により定住した場合に補助金を交付する。	336,465,000	・山村地域等に住宅・宅地の取得した405世帯に対し補助を実施した。
	低未利用地の利用促進事業	低未利用地の相談窓口開設、開発促進、補助・助成の拡充等を行う。	0	・平成29年度をもって事業完了。
	サービス付き高齢者向け住宅建設支援事業 (地域優良賃貸住宅補助金)	高齢者が安心して居住できる賃貸住宅を整備する民間事業者に対し整備に係る費用の一部を補助する。	225,991,000	・サービス付き高齢者向け住宅6件の整備補助を実施した。
	区画整理事業の推進（浄水特定、土橋、寺部、花園、四郷駅周辺、平戸橋）	浄水特定、土橋、寺部、花園、四郷駅周辺、平戸橋の各地区における区画整理事業を推進する。	46,298,856,470	<市街地整備課> 土橋：宅地等造成工事A=13.6ha、道路築造工事L=11,132m、建物等移転補償129件、借家人補償98件、移転補償物件調査委託、道路測量設計委託等 寺部：宅地造成A=8.2ha 道路築造L=4,345m、横断歩道橋整備N=1基、物件移転補償187件 花園：宅地造成A=4.9ha 道路築造L=3,000m、護岸整備L=560m、物件移転補償183件 <区画整理支援課> 浄水：国庫補助事業（道路築造L=208m、舗装工A=3,900㎡）に対する負担 平戸橋：宅地等造成工事A=3.2ha、道路築造L=829m、建物等移転補償62件（契約ベース）、調査設計委託等に対する補助金 四郷：宅地等造成工事A=23.6ha、道路築造L=6,136m、建物等移転補償49件（契約ベース）、調査設計委託等に対する補助金、事業関連道路改良L=796m、地区外排水路L=541m、電線共同溝L=618mの整備 等
市街化調整区域内地区計画制度の活用	市街化調整区域内地区計画制度の適正な運用により、旺盛な宅地需要に対応する。	0	・住居系市街化調整区域内地区計画として新規6件の協議を開始した。過年度の案件と合わせて計22案件について都市計画決定に向けた協議を行った。	

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本目標③	子どもを生み育てる希望の実現 ～安心して子どもを生み育てられる環境をつくる～			
○若者の出会いの場の提供				
若い世代の結婚希望を応援する出会いのイベント開催				
	とよた出会いの場プロジェクト事業	青少年センター等において、独身者を対象に各種イベントや活動を通して出会い・交流できる活動を実施する。	6,597,760	・出会いの場を創出する婚活イベントを実施 (延べ18回、参加延べ人数923人) ・婚活イベントに向けたスキルアップイベントを実施 (延べ3回、参加延べ人数76人)
○安心して子どもを生み育てられる環境づくり				
子育ての不安の軽減				
	子育て世代包括支援センター事業	妊娠期から子育て期にわたるまでの育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を行う。	44,613,304	・妊娠届出時に全員面接し、特定妊婦は育児支援専門員と再度面接。またケアプランを全員作成、支援の必要な妊婦を抽出し、支援を実施。 ・特定妊婦延べ5,341名(妊娠届出者数延べ22,000名)
	おめでとう訪問(乳児家庭全戸訪問事業)	母子保健推進員が、生後1～3か月の乳児をもつすべての家庭へ「おめでとう訪問」を実施し、育児不安軽減や子育て情報を提供。育児に関する心配事がある家庭には、地区担当保健師を紹介し、早期の育児不安解消を図る。	29,758,150	・生後1～3か月の乳児を持つ家庭に対し、母子保健推進員が家庭訪問を実施。 ・訪問件数：延べ18,233件(訪問対象件数：延べ18,762件) 訪問実施率：91.2%
	(仮)育児相談コールセンターの開設	24時間・365日対応可能な「(仮)育児相談コールセンター」を民間委託により開設し、子育ての不安感や負担感を訴える相談者等に対しては、子ども家庭課家庭児童相談室や愛知県豊田加茂児童・障害者相談センター等専門機関が対応し、児童虐待の発生予防・早期発見に繋げる体制を構築する。	47,572,326	・とよた急病・子育てコール24による24時間365日の育児相談対応の実施。 (育児相談実績：延べ13,403件)
子育ての経済的負担の軽減				
	子ども医療助成事業	中学校卒業までの子どもの医療に要する健康保険の自己負担分を助成する。	12,332,288,069	・出生届出や転入届出等、新たな受給資格者を把握できる機会を捉えて申請勧奨を行うことで、適切に受給資格を認定した。 ・中学校卒業までの子どもの医療保険の自己負担分を全額助成した。 ・令和2年4月から高校生世代及び大学生等の入院に係る医療保険の自己負担分を助成対象として拡大し全額助成した。
	多子世帯の保育料の軽減	こども園では、就学前の子どものうち年長の子どもから順に2人目以降の子ども、私立幼稚園では、小学校3年生以下の子どもから順に2人目以降の子どもの保育料を軽減する。	0	・多子世帯の保育に係る経済的負担を軽減した。

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本 目標 ③	○待機児童・放課後児童対策の充実			
	待機児童、放課後児童対策の推進			
	こども園での定員拡大	こども園の改築、幼稚園認可こども園の保育所認可化により、0～2歳児の受入枠を拡大する。	3,875,848,535	<ul style="list-style-type: none"> ・公立こども園の増改築による0～2歳児の受入れ枠拡大 3園53人 ・公立こども園の保育所認可化による0～2歳児受入れ枠拡大 3園55人 ・私立こども園等への施設整備費補助による0～2歳児の受入れ枠増加 4園116人
	幼保連携型認定こども園の設置の推進	私立幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行を支援し、0～2歳児の受入枠を拡大する。	1,449,343,000	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園の幼保連携型認定こども園移行による0～2歳児の受入れ枠拡大 8園271人
	地域型保育事業	こども園の補完的な保育サービスを提供するため、地域型保育事業を推進する。	699,676,320	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで認可した施設に対して地域型保育給付費を給付。
	豊田市認証保育所制度	市が独自に設定した認証基準により、認証を受けた認可外保育施設に対して運営費を助成する。	633,555,000	<ul style="list-style-type: none"> ・申請があった施設に対し、認証基準に基づき監査を実施。 ・監査結果に基づき認証区分（Ⅰ～Ⅲ）を決定。 ・認証区分及び保育を必要とする児童の人数に応じて交付金を交付。（補助件数：27施設）
	放課後児童クラブ事業	原則小学校4年生までの就労家庭の児童の生活の場を、学校施設を有効に活用し、確保する。	5,814,856,742	<ul style="list-style-type: none"> ・参加児童の将来推計に基づく施設整備計画を作成し、原則小学校4年生までの就労家庭の児童の生活の場を、学校施設を有効活用しながら短期的・長期的な視点で不足する活動室の確保を行った。
	○子どもの可能性を伸ばす環境づくり			
	教育環境の充実			
	きめ細かな教育の充実	これまでの少人数学級に加えて、少人数学級を実施していない小学校4年生から6年生において、1学級35人を超える場合、ベテラン非常勤講師を配置し、きめ細かな教育の充実を図る。	1,866,675,448	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の少人数学級の継続。 ・少人数指導・少人数学級の成果検証。 ・きめ細かな指導非常勤講師の配置の継続。
豊かな体験活動の推進				
生き抜く力を育む事業	子どもたちの「決める力」、「発想力」、「コミュニケーション力」を訓練するワークショップや、子どもたちが自ら掲げた目標に挑戦する「とよた子どもミライチャレンジ」を実施する。	2,553,754	<ul style="list-style-type: none"> ・とよた子どもミライチャレンジ（自分がやってみたいことを自分で計画・実施）の開催（延べ2回、参加延べ人数52人） ・外部講師による講座の開催（延べ34校、延べ参加人数6,055人） 	
特色ある学校づくり推進事業の推進	全小中学校において、異なる世代の人たちと交流や「地域の人・もの・こと」とのふれあい、国際交流などの豊かな体験活動を企画・実施し、特色ある学校づくりを推進する。	353,622,190	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校での実施。 ・各校の学校づくりに役立つ効果的な人的配置の実施。 ・学校だよりやホームページによる地域や保護者への情報発信。 	

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本 目標 ③	○市民や企業とともに進めるワーク・ライフ・バランスの取組推進			
	働き方改革に向けた企業の取組の啓発、支援			
	ワーク・ライフ・バランス推進のための市民団体との共働による事業所訪問	ワーク・ライフ・バランス推進員（市民団体）との共働により、ワーク・ライフ・バランスの必要性や一般事業主行動計画の策定、育児・介護休業制度、国・県の助成制度などについて周知し、事業所ごとの特徴を踏まえた助言を実施する。	8,715,615	・訪問事業所数延べ304事業所 ・市民団体との共働事業での実施（～2017年度） ・委託事業としての実施（2018年度～） ・働き方改革アドバイザーによる事業所訪問（2017年度～）
	子育てモデル事業所表彰事業	現行の事業所表彰制度において、特に子育てに関して優良な事業所を「子育てモデル事業所」として表彰し、広くPRする。	8,958,424	・「子育てモデル事業所」としての表彰は実施せず、「はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰」を通して、子育てとの両立支援に積極的な事業所を表彰。 (応募事業所数：延べ81事業所)
	企業におけるイクボス支援事業	企業などに対し、イクボス（※）の考え方を広める研修会等を実施する。 ※「イクボス」とは、部下のワーク・ライフ・バランスを応援しながら組織の成果もあげ、自らの仕事と私生活を充実させる経営者や管理職（男女問わず）のことをいう。	40,570	・経営者向けセミナーの開催（2016年度） ・県と共催で「イクボスセミナー」開催（2019年度）
	講演会、セミナー開催（経済団体、労働団体等との連携開催）	経済団体や労働団体と連携して、講演会、セミナーを開催し、企業におけるワーク・ライフ・バランスに取り組むメリットやノウハウ等について理解促進を図る。	1,659,540	・経営者向けセミナー、シンポジウムの参加延べ人数1,559人（2017年度以降）
男性の育児・家事への主体的な参画（意識改革）				
男性の家事・育児等に関する講座・講演会開催	日常生活の中で、家事・育児等に参加することが少ない男性が、その関わり方を見直すことにつながるよう、必要な知識と技術を身につけるための講座・講演会を開催する。	450,253	・親子調理、他親子交流、コミュニケーションスキル等の男性応援講座を実施。 (講座開催数：14回、参加人数：180人)	

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本目標④ 時代に合った地域づくり ～コミュニティを基盤としたつながりの構築と安全・安心して暮らせる環境をつくる～				
○環境先進都市の推進				
暮らしやまちづくりへの次世代エネルギーの導入・利用促進				
	再生可能エネルギー普及促進事業	太陽光発電をはじめ、小水力発電の拡大や下水熱など技術開発による新しいエネルギーの導入について、補助金や減税制度を活用しながら支援するとともに、中山間地におけるエネルギーの自給モデルを構築する中で、再生可能エネルギーの普及促進を図る。	47,162,362	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が元気になるモビリティ社会プロジェクトを開始（一部実装済み） ・山村地域で移動できる小型電気自動車に関連する実証事業を実施（実装済み） ・下水熱回収技術の実証事業を実施（実装済み） ・産業用ドローンの開発・活用に向けた実証事業を実施 ・ヒューマノイドロボットの開発及びインフラ協調実証事業を実施
	再生可能エネルギー普及促進事業	太陽光発電をはじめ、小水力発電の拡大や下水熱など技術開発による新しいエネルギーの導入について、補助金や減税制度を活用しながら支援するとともに、中山間地におけるエネルギーの自給モデルを構築する中で、再生可能エネルギーの普及促進を図る。	21,281,292	<ul style="list-style-type: none"> ・とよたエコライフセンターでは、市民への相談対応、各種補助制度の手続きを行うほか、セミナー等を開催し、再生可能エネルギーの普及啓発に努めた。特にFIT制度での固定買取価格の終了に係る相談会ではH30から3年間継続実施し、計12回の開催で552人の市民に啓発した。
	スマートハウス普及促進事業	家庭用エネルギー管理システム（HEMS）、太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、家庭用リチウムイオン蓄電池システムの設置及び次世代自動車の購入に対して補助する。	649,835,000	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光（令和元年度からスマートハウス化のみ対象）2,040件 ・燃料電池：848件 ・HEMS：1,252件 ・蓄電池：1,600件 ・次世代自動車（市民向け）：1,012件
	低炭素交通システム推進事業	次世代自動車の導入及び普及促進、超小型EVシェアリングシステムの導入、パーソナルモビリティの導入を図る。	66,587,570	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代自動車（MIRAI）の購入 ・Ha:mo RIDEの公用車利用による超小型電気自動車の普及促進 ・パーソナルモビリティ運用に係る実証事業を実施 ・山村地域で移動できる小型電気自動車に関連する実証事業 ・「MaaS-CITYとよた」の検討

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本 目標 ④	○ふるさとへの愛着づくり			
	地産地消、地域資源発掘の推進			
	(仮) 「WE LOVE とよた」 条例の策定	本市の地域資源を自信と誇りを持って次の世代につなげて、活力と魅力を備えた持続可能なまちの実現を根底から支えていくための基本理念を条例として策定する。	928,000	・市民検討プロジェクトを立ち上げ、条例を策定
	地産地食の推進	学校給食の地産地食推進、農産物直売所や地産地食応援店支援など地産地食拡大に向けた取組を進める。	22,450,500	・イベント等を通じて豊田産農産物の理解促進を図り、地産地食応援店を拡大した。
	とよた大好きっ子カリキュラム事業	小中の連携と地域への愛着を深める教育活動を推進するためのカリキュラム作成と活用を図る。	262,000	・園・小連携プランの啓発、推進 ・コミュニティ・スクール推進委員会で啓発、推進 ・各中学校区でカリキュラムの実践 ・「WE LOVEとよたっ子育成」プランに包含していくため推進委員会を設置、関係課との連携
	地域資源活用事業奨励事業	文化芸術活動者が地域資源を活用し、地域の活性化やまちづくり等に貢献する文化事業を奨励する。	58,972,001	・とよた市民アートプロジェクト：文化イベント12事業、アートサポーター201人 ・とよたデカスプロジェクト：採択事業74事業、参加者数28,344人
	とよた歴史マイスター事業	「とよた歴史マイスター」を認定し、市域の歴史・文化財の普及啓発活動を推進する。	5,536,883	・郷土の歴史を伝える活動をする市民を「とよた歴史マイスター」に認定し、研修会や展示解説・スクールサポートなどの活動を行った。コロナ禍においても新たな生活様式に対応し、オンラインやSNSを活用した取組を行い、広く市民が学べる機会とした。 ・認定者87人 延べ活動日数2,683人
	○まちづくりにおける官民連携・共働の推進			
	多様な主体の参画によるまちづくりの推進			
	地域自治システムの更なる発展	地域予算提案事業及びわくわく事業の改善を図り、地域自治システムを推進し、住民自治の浸透を図る。	1,351,294,287	・わくわく事業1,671件を採択し、地域予算提案事業391事業の提案を行った。
大学との包括連携協定事業	大学、学生のまちづくり活動等、包括連携協定に基づき連携事業を実施する。	8,319,365	・大学等との連携協議会の開催（年度2回） ・市長、学長・校長による懇談会の実施（年度1回） ・各種連携事業の実施（約140の連携事業の実施／年度）	
企業との連携強化	企業との包括連携協定に基づき連携事業を実施する。	10,000	・企業との包括連携協定4件	
市民・NPO・ボランティア団体等との連携強化	共働事業提案制度の効果的な運用、市民活動促進補助金の運用により活動団体を支援する。	10,769,127	・市民活動促進補助金助成団体：74団体 ・共働事業提案制度 提案事業数：20件 採択件数：11件	

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本 目標 ④	○医療・介護需要への対応			
	元気に安心して暮らせる環境づくり			
	地域包括支援センター運営事業	在宅の高齢者等を地域で支えるため、地域包括支援センターを設置し、委託による運営を実施する。	4,149,951,170	・平成31年4月に28か所目が開所し、目標とする中学校区に1か所の整備が完了した。
	救急医療コールセンターの設置	急病の時、病院にかかる前に相談することで適切な受診行動がとれるよう、応急処置の助言や医療機関の案内情報が受けられる救急医療コールセンターを設置する。 なお、子育ての不安や負担の軽減を図るため、育児相談も同時に実施する。	91,772,507	・救急医療相談実績（相談件数） H28 3,825件 H29 9,120件 H30 10,073件 H31 11,408件 R2 10,340件
	豊田地域医療センター再整備事業	地域医療センターが担うべき役割・機能を再構築し、必要な施設整備を実施する。	11,808,073,358	・基本設計（2015） ・駐車場造成工事（2015） ・管理研修棟・倉庫棟解体（2016） ・実施設計（2017） ・造成工事、インフラ整備工事等（2017） ・情報システム、医療機器更新（2017～2020） ・新棟建設工事（2018～2020） ・既存棟改修工事（2020）
	新1次救急診療所等整備事業	救命救急センターに集中している軽症患者を分散させるため、新たに1次救急診療所を整備する。	622,165,284	・施設計画作成（2015） ・事業用地測量（2016） ・新築工事設計（2016～2017） ・新築工事（2018～2020） ・電気設備工事（2018～2020） ・給排水衛生ガス空調工事（2018～2020） ・植栽工事（2019～2020）
	○地域の生活拠点、公共交通ネットワークの形成			
	中山間地域の暮らしを支える地域核の整備			
	藤岡地区地域核整備事業	藤岡地域のまちづくりの中核拠点施設として、支所・交流館の複合化による建替、バスターミナル及びアクセス道路を整備する。	1,645,684,345	・藤岡支所・藤岡交流館改築工事基本設計（2015年） ・藤岡田中二反田線道路改良工事基本設計（2016年） ・藤岡支所・藤岡交流館改築工事詳細設計（2016年） ・藤岡田中二反田線道路改良工事詳細設計（2017年） ・藤岡支所・藤岡交流館改築工事（2017年～2018年） ・藤岡支所旧庁舎解体工事（2019年） ・藤岡支所・藤岡交流館外構整備工事（2019年） ・賑わい創出を目的としたイベント（ふじおかプレミアム）を2回開催（2019年～2020年）
	どんぐりの里整備事業	重点「道の駅」に選定されたことを契機として、地域活性化の拠点となる「道の駅」の機能拡充及び周辺整備を実施する。	292,806,103	・どんぐり横丁増改築設計及びキャノピー新築設計の実施、仮設店舗の営業準備 ・交通結節点の整備 ・多目的広場の整備及び市道稲武針原線歩道の設置 ・道の駅イベント広場用地の取得
足助地区地域核エリア再生事業	足助地区及び山村地域の広域的な拠点として、持続可能な山村地域の実現に向けたエリア再生の仕組みを構築・展開する。	15,375,866	・担い手の確保、新規事業の創出のためスクール等の開催（3回、参加者〔レクチャー視聴206人、ワーク42人〕） ・スクール等から動き出したプロジェクトの事業化に向けた伴走支援	

豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（掲載事業）実績評価シート

分類	事業名	事業概要	期間内事業費 (単位：円)	取組実績
基本目標 ④	暮らしを支える公共交通ネットワークの形成			
	基幹バス運行事業	基幹バスの運行とサービス向上を図る。	3,467,502,718	・とよたおいでんバス12路線の運行
	地域バス運行事業	地域バスの運行とサービス向上を図る。	1,963,562,738	・地域バス及び地域タクシーの継続的な運行 (地域バス11地域、地域タクシー3地域)
	交通・移動支援情報提供事業	みちなびとよたWEBの利便性向上を図る。	58,388,319	・H29：検索速度向上改修等作業、H30：クラウド化、R1：重要欄作成、R2：Google検索と連携
	若林駅付近連続立体交差事業及び関連事業	名鉄三河線若林駅付近における鉄道高架化のほか駅周辺での市街地整備により、鉄道駅を中心としたまちづくりを進める。	3,638,623,432	・鉄道詳細設計 ・用地取得 ・事業促進に向けた国、名鉄、愛知県等関係期間協議 ・工事協定締結 ・区画整理発起人会の支援 ・区画整理事業計画(案)の検討
○地域防災力の向上				
地域防災力の向上と担い手の確保推進				
	担い手育成講座の開催	自主防災リーダー養成講座や防災啓発指導者研修の開催などによる担い手育成を図る。	2,611,173	・自主防災リーダー養成講座の開催：受講者471人(6年間合計) ・防災啓発指導者研修(H27,H28)：受講者121人(2年間合計)
	市民防災総合演習事業	市民防災総合演習事業や中学校区単位で地域の特性を生かした地域主体の防災訓練を実施するほか、防災フェスタを開催する。	34,932,770	・市民総合防災演習の実施(H27,H28) ：開催地区2地区(足助、旭)、参加者4,860人(2地区合計) ・自主防災訓練支援(H29-R2)：666回(4年間合計) ・防災フェスタの開催(H27,H28)：参加者50,000人(2年間合計) ・防災キャンプの実施(H29-R2)：実施校15校 ・中日サバイバルキャンプと連携した啓発スタンプラリーの開催(H29)：参加者153人 ・親子で楽しみながら学べる防災訓練体験イベントの開催(H30)：参加者450人 ・防災啓発ミニ動画の制作・配布(R1)：自主防災会、学校へ配布 ・防災キャンプ動画の制作及び防災イベント「キャンプ de 学ぼうさい!」の開催(R2)：参加者900人
	消防団への加入促進事業	消防団員確保のため、事業所が消防団員に特典やサービスなどを提供する消防団応援事業所登録制度を創設し、推進する。また、地域防災の担い手や若い消防団員を確保するため、学生を対象とした消防団体験会の開催及び学生機能別団員を導入する。	1,079,901	・平成28年度に消防団応援の店を発足(当初54件の登録) ・令和3年度現在233件に拡充 ・平成30年度に消防団70周年記念事業開催、その記念に消防団PR動画を作成して映画館での上映前広告やSNSでは配信するなど加入促進に活用。
○公共施設の適切な管理				
公共施設等の総合的・計画的な管理				
	公共施設等の総合的・計画的な管理の推進	公共施設等総合管理計画の策定・運用及び公共施設等のマネジメントを推進。	7,810,000	・公共施設等総合管理計画の策定・運用(平成28年度) ・公共施設等総合管理計画の改定(令和2年度)